令和元年度　第３回人権教育推進協議会　議事録

開催日時	令和２年２月７日(金)10 時から 11 時 20 分まで
開催場所	厚狭地区複合施設　厚狭公民館
出席者	山陽小野田市人権教育推進協議会委員１８名 河﨑知治委員、荒川英良委員、藤本志津枝委員、浜崎洋子委員、土井　浩委員 豊嶋麻衣子委員、橋口秀昭委員、杉本善行委員、荒木幸雄委員、松尾信義委員 平野唯男委員、大場清春委員、冨永　晉委員、伊藤　武委員、藤井慎一委員 草田和枝委員、中村尚子委員、西岡フミエ委員 長谷川教育長 市民生活課2名（藤山次長、岡野主任） 学校教育課1名（髙良主幹） 事務局（社会教育課）３名（河上課長、柿並係長、江内社会教育主事）
欠席者	田中　静委員、中川　悟委員、三井　清委員、大本　軍委員

「山陽小野田市執行機関の附属機関」に属すため、「会議の公開に関する要綱」より、議事録をホームページで公表すること、また委員会規則より、22 名中 18 名の委員の出席（過半数）で本会議が成立することを伝える。

・辞令交付
　民生児童委員協議会代表の内田委員に代わり、中村尚子委員
・長谷川教育長挨拶
・河﨑会長挨拶
・委員自己紹介

以下、河﨑会長により議事を進行する。

会長	協議に移ります。議題１にあります「本年度の事業報告」について事務局より説明してください。
事務局	それでは、2ページを御覧ください。本年度の事業報告について説明いたします。 まず、7月9日に第1回、10月16日に第2回、そして本日2月7日に第3回の人権教育推進協議会を行っております。 市の人権講座については、2回目の会議で報告しておりますが、全4回で591名の参加をいただきました。 10月31日山口南総合センターで行われた県主催の「人権教育研修会」は、人権教育推進協議会委員13名と、教員10名、教育委員会5名の計28名が参加し、総合支援学校における地域連携の取組やユニバーサルデザインについてなど、共生社会の実現にむけての研修がありました。 7月～9月は市内の小・中・高校の児童・生徒対象に人権に関する標語・ポスターの募集と一般対象に標語の募集を行いました。応募総数は658点でした。これらの作品につきましては、第2回人権教育推進協議会で審査をしていただき、12月7日の「ヒューマンフェスタさんようおのだ」で優秀賞の表彰を行っております。また、応募者にはクリアファイル等の参加賞をお渡ししております。「ヒューマンフェスタさんようおのだ」については、このあと市民生活課より説明があります。 人権のポスター・作品は昨年同様、12月～1月に市内の公民館と中央図書館に掲示し、併せて人権コーナーも設置していただきました。1ページの下の写真が中央図書館に設置していただいた人権コーナーです。 「人権の花」運動は、今年度は本山小学校と津布田小学校が取り組み、平成9年から市内中学校で実施の広島県原爆被害者団体協議会に講演をお願いしている「平和のつどい」は、

	高千帆中学校と厚陽小中学校で行いました。 　今年度、各地区・公民館・企業・学校での人権教育に関する取組については、本日お配りした資料にまとめています。これは1月末提出分までをまとめております。まだ提出されていない自治会もございますが、3月末にはきちんとした形が出来るのではないかと思っております。これは各学校・公民館・企業にもお配りしまして、来年度の参考にしていただく予定です。
会長	ありがとうございました。質問は後ほど受け付けるということで、引き続き「ヒューマンフェスタさんようおのだ」について、説明をお願いします。
市民生活課	「ヒューマンフェスタさんようおのだ」について報告します。まず委員の皆様には、準備・受付・片付け等の御協力をいただきまして大変ありがとうございました。また参加依頼する上で、各地区の委員の皆様には、地区長宛でなく委員宛に変更することになり、大変申し訳ありませんでした。 　今年度は、人権に関する作品の表彰式と受賞者のインタビューに加えて、法務局主催の中学生人権作文コンテスト宇部地区大会の山陽小野田市生徒の表彰式と1人に作文の朗読をしていただきました。その後の講演では、山口県視覚障害者団体連合会宇部市代表委員、西村和幸さんに「見えない世界からのメッセージ～「みんな違って当たり前」を認め合う共生社会とは～」と題してお話をいただきました。 　4ページのヒューマンフェスタのアンケート集計結果を御覧ください。参加者は357名でした。以下抜粋させて説明させていただきます。5ページ質問4の「今回のイベントに参加して、人権問題についての関心や理解は深まったか」では、「大変深まった」と「おおむね深まった」という回答の割合は93％でした。 　6ページ質問6の「今回のイベントは満足いくものか」では、「非常に満足」と「やや満足」という回答は95％となりました。7ページからは参加者の意見を載せております。ここで市では、「障がい者」という言葉の「がい」の表記に関して、固有名詞などで決められたもの以外は「ひらがな」の「がい」を使いますが、この意見欄では、回答者が記載した通りに記載しています。講演についての意見としては「勉強になった。」「素晴らしかった」といったものが大変多かったです。来年度の構成については社会教育課とまた皆様と共に検討していきたいと思います。
会長	ありがとうございました。先ほど社会教育課、それから市民生活課から事業報告がありましたが、これら全部をふくめ御意見・御質問がありましたらお願いいたします。 　今期はヒューマンフェスタのことが主体ですが、ヒューマンフェスタに限らず何か気になったところとか、こうした方がいいのでは、という御意見がございましたらお願いいたします。
委員	第2回の会議の時に、「地区長さん宛に募集をする」という決定をして1週間もしないうちに二転三転したわけです。「委員の方に直接持っていきます。」「委員さんから地区長宛に持っていってください。」とのお電話があって、翌日持ってこられた時には、また話が変わりまして「各委員さんの方で人数を集めてくださいという風に変わった。」と報告を受けたんです。もちろん協力はするんですが、ここで決まった会議のことが、一週間で二転三転していくというのは、せっかく皆さんが時間を割いてお集まりいただいて決まったことが変わると皆さんもどうしたんだろうと思うのではないのかなと思いますし、結局連携が取れてないのかなというふうに思うんです。私たちも受けた以上は責任がありますので、「すみません、こうなりましたので。」と簡単におっしゃられても、そこはやはりきちんと事前に各所で連携を取っていただいて、「このようになった場合はどうする。」「これで大丈夫か。」というのを事前に築き上げておかないと。ここで決まったことが簡単に話が変わると、私たちもどうしていいのか戸惑いますので、その辺の連携は密にして

	いただきたいと感じました。
市民生活課	今、御指摘があった動員につきまして二転三転したのは事実です。協議会の時にきちんと決まったことが覆ったことについてはお詫びしたいと思います。やはりこういった協議会で皆さんに計画等をお示しする中で、やはりそれなりにきちんと関係各所と調整した上でこちらにもってあがるのが筋だというのは、言われているとおりでございます。来年度の事業につきましても、皆さんに正式にお願いするわけですから、責任をもって皆さん出ていただいているというのは重々承知しておりますので、きちんと調整した上で話をもってこさせていただきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いします。
会長	その辺り、協議会の主催事業ですが、私も何年かやっておりますけども、人を集めるところで委員さんすべてが地区の代表ではない方で、選ばれて来られた方もおられるのでその辺はなかなか集めにくいという空気は何年か前も出ておりました。累積課題だと思います。そこで今年度見直して、地区長さん方からも声をかけていただこうと、そういう形にしようと話し合ったと思います。そういう形で進めていったほうがやっぱり集めやすく、集めやすいというのは変な言葉ですけど、なるべく多くの方が来やすい形で進めていく方向にしていきたいと思います。
市民生活課	地区長さんの方にその旨をお伝えしまして、委員さんだけではなくて地域全体で取り組んでいただくというのを、引き続きお願いしたいと思います。ありがとうございます。
会長	他によろしいですか。
委員	ヒューマンフェスタの関係ですが、年齢構成が4ページに載っております。70歳以上、私も70歳以上なんですけど、70歳以上が50％、49％と書いていますが実質半分です。もう少しどうかならないかと思うのが、若い人にもう少し、勤めの人はなかなか難しいのかもしれないけれど、地区の人はもちろん一生懸命やって今まで通り集めなければと思いますけれど、企業関係の参加なり、それからできたら中学生の参加を積極的に勧めて、もう少し幅広く人権に対して関心をもってもらうようなフェスタにできないかなと。個人的にこれを見て急に感じたわけでございますが、皆さんの御意見はいかがでしょうか。
会長	これもずっとの課題になるんですが、どうしても年齢層が高いということで、それについて御意見ございますか。
委員	結局、私のところも地区長とも話したんですが、「動員」という言葉はあまり好きではないんですが、動員をかけるとどうしても定年後の方になります。ですからこれは仕方ないと思いつつ、僕も丁度同じような意見で効果としてどうかなと疑問に思っていました。
会長	この集め方、PR の仕方については、また来年度に向けてとなるかと思いますが。
市民生活課	御意見ありがとうございます。広報とかホームページはもちろんのことですが、ラジオ番組もありまして、そちらにも周知したりしています。もちろん企業さんの方にもお願いの文書を送っています。この辺は毎年の課題というふうに認識しております。少しでも若い方が参加していただけるような講師の方を意識しながら、若い方が参加していただけるように引き続き努力してまいりたいと思います。あと、やはり「動員」という形になっているわけですが、来られてその講演で見たこと感じたことを、御近所とか周りの方に広げていただくのも、とても大切なことだと思いますので、出席された方については引き続きどうぞよろしくお願いしたいと思います。
委員	先ほど言われましたけど、中学校からの動員ですが、教育委員会の方で中学校の生徒会なりに呼び掛けて生徒会の役員さんだけでも出来る限り来てくれないかという方向で教育委員会の方でお願いできないものでしょうか。
教育長	今、お話を聞いて多くの年代の方に来ていただきたいというのはとてもよく分かります。

	まず僕は保護者の方にもう少し聞いてほしいなという思いはあります。先日、市 P 連主催の母親父親研修大会が開かれました。それに参加される保護者の方も、もう少し多いといいなという思いを私も感じた次第です。やはりそういった保護者等への働きかけというのをもう少し行っていければいいなという思いを少ししております。その上で、子供たちも人権教育については、学校教育の中で実は毎年行っています。この中の事業報告の中に、市内の中学校においては「平和のつどい」等も行いながら、そういった研修を受けてきておりますので、もう少し一般の方の人権啓発の場にもう少し力を、人を集めるという事を少し皆でやっていかないと、まずはいけないんじゃないかなというふうに思いをもっております。
会長	ありがとうございます。いろいろな社会教育関係団体がありますが、そういう PTA 連合会の会議とか女性会の会議とか、そういう会議に出られてその時にこういう話をされたらもっと裾野が広がるんじゃないかと思います。他にありますか。
委員	一つ提案ですが、アメリカのトランプ大統領がかなり人種差別的なことでやっています。そういったものもこの中に組み入れていったら、もう少し興味をもたれるんではないかなと思うんです。例えば、黒人とか、ヒスパニックとか、東洋人に対してもかなりの差別的なことを言っています。だからそういったある程度幅を広げたものをやってみてはどうかと思います。
市民生活課	ありがとうございます。人権問題は様々な問題がありますので、外国人差別っていうのも一つでございますし、定期的に毎年同じテーマに偏らずにやっていこうと思っていますので、今の御意見を参考にさせていただきたいと思います。
教育長	つい先日、市内の校長を集めて校長研修会というのを行いました。その場で私も発言する場があるんですけど、新型コロナウイルスの問題がマスコミ等を通じて、いろいろ報道されて、まだまだ分からないことも多いのでいろいろな不安とか混乱を招いている。こういったときに、やはり偏見というか、確かな事実ではないのに、そのことによって人権が侵害されていくようなことが心配されるという話をしました。市内にも、外国籍の方、中国籍の方もおられて、子供達が学校で学んでいるんですが、そういった子供達が偏見による人権問題が起きないようにしっかり注意して目を配ってくれとか、配慮してくれとか。またよく言われるのが「菌を持っている」とか、ちょっと咳をしたら「お前なんとかじゃないか」みたいな、そういう言われ方をされたら嫌ですよね。そういったいろいろな問題があるということ、そういったものをもっと幅広く、みんなの興味に応じた勉強会になるように工夫してまいりたいと思っております。
会長	ありがとうございました。今年度の振り返りですが、ほかに御意見ございませんでしょうか。 では、ひとまず置きまして、来年度の案が出ているようですので、そのあと最後にまとめて、また御意見をいただきたいと思います。それでは引き続き、来年度の説明をしてください。よろしくお願いします。
事務局	それでは3ページを御覧ください。来年度の事業計画の案について説明をいたします。 まず、人権教育推進協議会の開催ですが、来年度も7月、10月、2月の3回を予定しています。 「人権に関する作品」の募集は、来年度も市内の小・中・高等学校の児童生徒の皆さんと一般の方に「人権に関する作品」を募集します。積極的な応募がなされるように、早めに各学校に働きかけていきたいと考えておりますが、校長会や職員会議等を通じて、学校全体で関わっていただけるよう御連絡をお願いします。また、市内にお勤めの皆様や地域

	にお住まいの皆様にもふるって応募していただきたいと考えています。委員の皆様よりそれぞれの地区や勤務先、また各団体でお知らせをしていただければと思います。 ③の県教育庁人権教育課主催の人権教育研修会は、本協議会の委員の皆さんの研修の場として考えているものです。お忙しい時期とは思いますが、御都合を付けて参加をお願いいたします。期日が近づきましたら、また御案内をしたいと思っております。 ④の人権講座、⑤「ヒューマンフェスタさんようおのだ」は、このあと市民生活課から説明がございます。 ⑥の各地区・学校・企業等における人権教育の取組については、来年度もそれぞれの地区・学校・企業等で、人権問題についての認識を高め、より一層の人権教育の推進をお願いしたいと思っております。 ⑦の来年度の「人権の花」運動は高泊小学校と埴生小学校、それから「平和のつどい」は小野田中学校と厚狭中学校となっています。
会長	ありがとうございました。また質疑等は後ほど、続けて④の人権講座、⑤の「ヒューマンフェスタさんようおのだ」についての説明を市民生活課でお願いします。
市民生活課	④の「人権講座」につきましては本年度同様、来年度4回開催したいと考えており、日時は7月9日、16日、30日の3回を18：30～20：00、8月6日を14：00～15：30で予定しております。会場は耐震化が終わる市民館を使い、1回目が不二輸送機ホール、2回目が市民館と交互に開催する予定です。講師の都合等により、日時が変更される場合もあります。また参加者を募る方法ですが、来年度人権講座におきましても、今年度同様に各団体に参加依頼させていただきたいと考えていますが、各地区の委員の皆様には今年度のヒューマンフェスタと同様に地区長宛でなく、委員の皆様宛で参加依頼をさせていただけたらと考えております。どうか御協力をお願いいたします。 ⑤の「ヒューマンフェスタさんようおのだ」は、今年度に引き続き12月4日～10日の人権週間にあわせた12月5日土曜日、会場を市民館と予定しております。内容や時間等につきましては、来年度検討していく予定です。
会長	ありがとうございました。今提案がありましたが、確認をしたいと思います。 まず「人権教育推進協議会」ですが、7月、10月、2月の3回、人権に関する作品募集は7月～9月上旬に小中高と一般の方に募集をするということ。 それから、人権教育研修会は10月にありますが、これは人権推進協議委員さんの研修の場ということになりますので、出来る限り参加していただければということでした。 ④の山陽小野田市人権講座は、来年度は少し形が変わっているようです。3回までは以前同様18：30～20：00ということですが、8月6日だけは14：00～15：30と時刻が変わっています。 「ヒューマンフェスタさんようおのだ」は、来年度は12月5日土曜日です。これについては来年度また詳しく話があるということです。 それから、地区・学校等における人権教育の取組は大変御苦労をかけておりますが、こちらの方も続けて取り組んでいただきたいということでした。 「人権の花」運動につきましては、来年は高泊小学校、埴生小学校、「平和のつどい」は小野田中学校と厚狭中学校ということでした。 来年度のことですが、御意見や御質問等ございませんでしょうか。
委員	3ページの事業計画の⑤の「ヒューマンフェスタさんようおのだ」の日時の問題でございますが、実は今年も12月7日で、12月になると忘年会というのがありまして、私がお願いしていた人がみんな忘年会で。11月の最後の土曜日ぐらいに変更した方が、と私は個人的に思ったんです。この度お願いしたい人がたまたま忘年会が重なって行ってもらえなかった人が多かったので。皆さん方はいかがでしょう。

委員	もう人権週間というのは決まっているので、12 月の事だから前もって早めに皆様方この日は忘年会をちょっと避けていただけた方がいいんじゃないかと思います。 それと、④の市内事業所の社員さんも参加できるような研修に、というのが今回入ったようですが、どういった事業所が来られるかというのは決まっているのですか。
市民生活課	例年ですね、御承知のとおり夜にやっていたんですけども、少し変えてみようと。お勤めになってらっしゃる方が研修の一つとして出席しやすいように、という声も聞こえてきましたので、勤務中に会社の方から研修の一環として出席してもらうということで幅広くお願いしたいと思っていますので、今どういった企業とお示しするものはございません。
委員	さっき言われた 12 月 5 日の件ですが、いわゆる人権週間 12 月 4 日～10 日と言われましたが、この期間内に必ずヒューマンフェスタをやらなければいけないということでもないんじゃないですか。その辺の日にちの余裕っていうのは、フェスタはフェスタ、人権週間は人権週間というふうに捉えられないものですか。その方が集めやすいと私も思います。
市民生活課	お考えもごもっともだと思うんですが、人権週間っていうのは市だけではなくて、県・国をあげて PR をしています。やはりそういった時は同じベクトルで同じ方向を向かって三者が連携して大々的に広めれば、より効果のあるものだと。「人権を捉える・考える時期」としてというふうに考えております。市だけでやるのであれば、日にちを考えなければいけないというところではあるんですが、皆さんそういった人権週間という露出も増えてまいりますし、PR も県も国もするわけでございますので、そういった盛り上がりの時期にやるのがより効果があるのではと人権週間に実施しておりますので御理解をいただければという思いがございます。
会長	他にございませんでしょうか。
委員	⑥で地区・学校・企業等における人権教育の取組とあります。地区・学校というのは大体ここに書いてあり分かりますが、企業等については、大きな企業はここに書かれてありますが、ほかにどのような企業にどのくらいの取組をされているか聞かせていただけないでしょうか。
事務局	黄色い冊子の 7 ページからを御覧ください。実は企業に関しましては宇部・山陽小野田地区企業人権教育連絡協議会というものがございまして、こちらに加入している企業様には取組をお願いしております。研修会の案内等を行ったり、宇部市の研修会にもこちらの企業様には行っていただいています。現在、山陽小野田市が 17 社、宇部・山陽小野田市合わせて 49 社の加入です。市内の未加入の企業さんもございますが、少しずつ開拓をしているところです。11 ページのその他の企業として各事業所で講座を行っております。
会長	他に来年度の事業計画について何かございませんでしょうか。
委員	似たようなことですけど、今おっしゃいましたように企業との連携というのも、私ども人権擁護委員の方では全国の方から取り組む委員会ができまして、今後さらに啓発活動を進めていこうということになっていますので、ぜひ人権教育と私どもの人権教室、人権啓発、この普及活動で連携を強くしていきたいと思いますので、これを私どもは擁護委員から、県連、全国というふうに要望等をあげていきますので、これから更なる連携をお願いしたいと思います。 もう一つは来年の事業計画にあたって動員の方も大変という事で、在り方をこの中でもう少し案を出されるといいんじゃないかということを提案します。一つは私ども人権擁護委員の方で、どうしてこの人権教育とか人権啓発が必要なのかという所を、クイズ形式にして全国的にあちこちでやっております。だから会の初めにどういう成り立ちでこんな事

	が起こったんだということを早 75 年以上になろうかとするところなので、今一度そこを掘り起こされたらどうかと提案します。
会長	人権教育といいますか、どういうことをして生まれたのかとか、どうして必要なのかということあたりも考えていくということを、人権講座とかヒューマンフェスタとかになると思うんですが、講じてみてはという御提案ではないかなというふうに思います。また御検討ください。よろしくお願いします。他にございませんでしょうか。 それではないようでしたら、最後の（3）のその他に入りたいと思いますが、事務局の方なにかありますか。 では、今回 3 回目でございますので、委員さんに一言ずついただければ。人権教育の取組等なんでもかまいません。どうぞ。
委員	今年初めてこういう会議に参加しました。ヒューマンフェスタは息子がインフルエンザになってしまい、参加が出来なくなって。先ほども言われた保護者の参加も、声をかけても「家のことが」「仕事が」とか言われたらなかなか難しいので、もう少し考えていければと思います。
委員	私も何回か参加させていただいているんですけど、やはり年をとった方ばっかりというか、それがすごく気になっていたんです。若い人になかなか思いが伝わらないし、地域でも若い人が出ることが少ないです。皆、ある程度年配の方はこういう場に出てくる、他の集合でもみなそうです。女性会にしてもある程度年配の人しか来ない、若い人が参加していただけないという、そういうところが今悩んでいるところです。人権の講座についても先ほどの表で分かりますが、70 歳以上の人が多いという、そこはどうにかならないかと思います。
委員	高校の人権教育は学校の教育活動全体の中で実施していくという方向で決められています。高校も年間を通じて計画的かつ組織的に人権教育を推進していくという方向で実施しておりますが、私が今一番懸念している人権問題は、ネットを使った人権侵害です。これは小中高問わず、学校はこれが一番大きな問題ではないかと思いますので、情報教育や情報モラル教育と絡めて、この人権侵害の問題をもう少し生徒にしっかり教えていく必要性があります。その為にまず教員が勉強しなければならないということを感じております。
委員	私も企業の代表として今年初めてさせていただきました。先ほどから御意見、ヒューマンフェスタの参加者に若い方が少ない、企業からの参加はどのくらい来られているのか、他の企業さんがどういった感じなのかは分からないですが、うちの方で言いますと、やはり土曜日の開催であるとか、この人権講座の夕方の開催となると、「仕事での参加」が難しく、かといって「プライベートで参加してください」と言うと手を挙げる方はやはり少なく、今回、私も子供の行事と重なってしまってお手伝いもできなかったんですけど。今回、人権講座が一回昼間に開催されるという事はとてもいいことで、多分参加が増え、うちの方としても動員がかけやすいと思います。他の企業さんも同じようなケースになるのではと思うので、ヒューマンフェスタに関しても平日にとなるとまた難しいことになるのかもしれないですけども、検討していただけたらと思いますし、企業としても参加していただけるように声かけ等、積極的にしていきたいと思っています。
委員	私の場合は地区長の方から指名を受けてやるという形で参加させてもらったんですが、正直どの会もあまり参加したことはございません。自分自身が改めてこれから少し勉強しなければいけないと思っています。
委員	先ほどから多くの方が御意見おっしゃっていますけど、高千帆地区に関してもまったく共通したところがありまして、具体的に言いますと、市の人権講座それからヒューマンフ

	ェスタさんようおのだ、大きなこういう行事に関してはすべてということではないですが、ほとんど大多数が自治会に関する役員、主には自治会長及び各町内のその他の役員が圧倒的という状況です。それ以外の方に対しては、もう少し働きかけをする必要があると思いますが、例えば、回覧であるとか広報であるとかそういう手段もありますが、もう少し市の取組としても、例えばポスターとか、その他回覧に配るための資料とか補助的なものを考えていただければと思います。もう一つは、私も今年高千帆協議会の自治会長から任命されてやっていますが、具体的にはフェスタの参加者を募るときでも現実的には地区長に依頼してそこからはがきを配布していただいて、再度私が集計してそれを出すようになっています。もう少しスムーズに最初から地区長にも配るか、あるいは最初からそういうルートをとるかを考えていく必要があるような気もしています。
委員	私の言いたいことは、ほどんどおっしゃってくださっているんですが。実はこの前、高泊地区の人権推進協議会をやったんですが、自治会長全員に「とにかく来てくれ」と言って自治会長が来たのは 15 名中 7 名か 8 名、自治会長でさえそんな状態です。だから一般の人に来てくれっていうのはこれまた至難の業なんです。そこで女性会の役員とかを集めて 20 人足らずで。人集めをどういうふうな形で行うか、もう少しグローバル的な内容で考えていただいて。ただ、この前は同和教育についての講座で非常によく分かったんですが、これをほんとに皆に見ていただきたい。そのためにはどうしたらいいか、70 代の自治会長、70 代の女性会ばっかりが聞くだけではないと思うんです。だからそのあたりをどうすればいいのかっていうのをもう少し地区長とも話していかなくてはと思っています。
委員	私は若い人には声掛けはしています。勤めて帰ってきて 18 時とかだったらちょっと疲れたって言われてなかなか参入できないんですけど。改めて若い方にも参加していただくように声をかけていこうと思います。
委員	私も今年度からですが、女性団体連絡協議会の中の商工会議所女性会として出させていただいています。今日の行事の振り返りを見まして、女性団体連絡協議会には、市の PTA 会長さんが来ていらっしゃいます。若い方に、小中学校のお母さん、お父さん、子供に対して知っていただきたいということになると、私ではなくて、女団連の事なんですが、市 P さんの会長さんが出られるのが一番じゃないかなとなんとなく思いましたので、女団連の方でまた検討していただきたいと思います。
委員	今回の 3 回目の会合から参加なのでよく分かりませんが、今まで山陽小野田市の人権講座、それからヒューマンフェスタ、これは毎年のように参加させていただいておりますので、皆さんがすごく苦労されて会場をセッティングされたり、片付けされたり、またいろいろどういう形で皆さんに集まっていただけるかということで苦労されていることがよく分かりました。自治会にしても女性会にしてもいろんな会がありますが、どこもなかなか若い方に来ていただく魅力ある勧誘というか、動員するというのがどこの会もなかなか大変なような気がしております。それぞれの立場でいろんな会によっては年齢層が高いところがあるでしょうし、言われたように PTA の関係でしたらやはり年代層が若い方になろうかと思いますので、いろいろな方に、多くの方が参加できるような会合になるというか、講演・講座になるようにこれからも考えてみたいと思っております。
委員	今回、目新しい講師だったのでしょうか、感想を見ると「非常によかった」という感想が多いので、また課長さんには努力していただいて。例えば、アスリートの道下さんとか、仮に障害があっても頑張っていけるんだということを子供達やお年寄りの方に、広く理解していただけるような講師の方もいいんじゃないかと思います。
委員	今回お声がけして参加していただいた小中学校の保護者も、「今回の講演はよかった」

	という声がありました。市全体でやって行うことで、各地区での開催ではないので難しいかもしれませんが、年によってもう少しターゲット、年代層を絞った講師設定というのも一つの方法ではないかと思います。漠然と集めるのだと難しいので、もう少し年によってターゲットを「この年代に絞るぞ」と決めて講師を逆に設定するのも、来ていただいてそこで「面白い」「勉強になる」ってなれば興味を抱いていただける、その呼び込み方法として一つの手段、なにかそういう手段をとっていかないと。いくら若い方たちでも子供が小さければ参加することもできない。なので、そういう小さい子供がいても参加できるようなブースを設けるとか、少しでも足がかり、手掛かりになるような方法をとるのも一つの方法ではないかなと思います。 　あと、今年人権教育の関係でパラサイクリングの選手が学校にお見えになりまして、そこで低学年の小学校の子供が、選手が義足を外すと「うわっ」とか「きもっ」とか。どうしても正直な気持ちだと思うんですよ。いくら人権教育で今までそういうことを言っちゃいけないと言っても目の当たりにして、そういうのが苦手な子供にとっては「きもっ」「気持ち悪い」ってつい出てしまう。正直な子供の、特に低学年の子供の感想だと思うんです。そこで先生がその子を睨むんです。それはどうなんだと、私はその場で思ったんですね。先生がその子を睨んでその発言を押し殺すようなことでは、それは人権教育につながらないと思うんです。しかもその選手は「そういう感想がくるのは当たり前ですよ」とおっしゃっているにもかかわらず先生がその子を睨んでしまうという、そこに人権教育が根付いてない、学校現場でも根付いてない証拠ではないかなというふうに私は思ったりします。それは睨んで終わりじゃなくて、寄り添ってそばに行って、なにかこう教えてあげるとかいう事が大事ではないか。選手自身も「それでいいのよ」「初めて見たら皆そうなりますよ」とおっしゃっているのに先生は睨むっていう、そこのちょっと差が寂しいなというふうに感じたことがありました。
委員	たくさん発言されましたので、もういいんじゃないかと思いながら、マイクを持つと一言話さないといけないのかなと思っております。私も市の人権講座 4 回とも参加すると届け出をしていたわけですが、気が付いたら一日忘れていたとかいうことがありました。人にはお願いしながら、自分が忘れるということが発生して大変反省をしております。どちらにしろ、やっぱり参加してみようかなという、要するにゲストじゃありませんけど、予算的なこともあるでしょうが、人権講座が 4 回、さらにはフェスタが 1 回、合計 5 回ほど大きなイベントがあるわけですので、その中で人を集めるような人に一回は来てもらう。全部立派な人を呼ぶわけにはいかないと思います。予算的なこともあろうかと思いますが、多くの人が「この人の話は聞いてみようか」という人を一人は入れてみる形にできたら、人集めもしやすくなるということを発言させていただきます。
委員	厚陽地区です。去年 11 月 19 日に吉妙蓮寺の住職に講師として来ていただきまして、その時に、最初は人数はすごく少なかったんですけど、結局 70 人近くの方に集まっていただきました。厚陽地区っていうのは高齢化が非常に進んでいる地域です。この呼びかけは主に会長と私でやりました。どれだけの成果か分かりませんが、先ほど言われましたように内容によっては、非常に関心を持っていただけるという、そういう面があるんじゃないかと私はつくづく思いました。だから今後やはりレパートリーを広く、いろいろな方に講師になっていただきたいと思っております。予算の関係も先ほどありましたようにあると思いますが、その辺をもう少し幅広くやれたら、もう少し集まるんじゃないかというような感じがします。
委員	本山地区です。今日また夕方から人権教育講座を公民館で行うようになっています。

	人権に関わってずっとやっているんですけど、公民館や地区でやる場合はどうしても予算的なものがかかってきて、またヒューマンフェスタの演題と小学校や中学校の演題とそれをまた変えなくてはいけないっていうのも、結構悩ましいところではあるんです。毎年いろいろな講師にお願いをするんだけれど、結局ぎりぎりになってお願いするというのが今の地区の現状です。良い講師の方に 1 時間半くらい喋ってくれと言ってもなかなか無理で、その方に一年前からお願いするとか、というふうにやっていかないと難しいのが現状です。 先ほども出ているんですけども、若い方、特に保護者の方々は小学校の授業参観の時に人権教育講座というのを入れているはずなんです、各学校は。僕もよく行くんですが、興味を持たれる方はおられます。そういった方々が一人でも二人でも増えれば、若い方もこういった大きなフェスタに参加できるんじゃないかと思っています。 あと、2 年間ほど不二輸送機ホールでやっていたんですが、本山地区から不二輸送機ホールまで「行って」と気軽に言えないんです。距離的なものもあるし、車を利用されて事故とかも、夜遅くなって帰るからなかなか強く言えなくて。次年度から市民館が使えるということですので、市民館の時には力強く声をかけて参加できるようにしていきたいと思っております。
委員	須恵地区です。やはり「人権・人権教育」っていうその名前自体が、重いんじゃないかというふうに感じます。それからこれまで参加されていた方も偏ってきているのが現状じゃないかと思うんです。他の市をみますと「教養講座」とかそういう形でちょっと名前の知れた方を呼んでいるところが、宇部にしろ、私の住んでいた防府にしろ、そういう形である程度知名度のある方、それから県内にしても地元の方でテレビに出ている方、そういう知名度のある方を呼べるような環境づくりが必要じゃないかというふうに思っています。 須恵校区の募集は、私は校区長をしており、その関係でふるさとや社協関係の方、約 80 名くらいの役員の方に案内を出すんですが、やはり 80 名出しても 15，6 名、今年それだけしか集まらなかったんです。年々わずかですけれども減少傾向であるというのが実態です。やはり「人権＝（イコール）なんか難しいな」というような思いが名前から来ているんじゃないかなと私自身感じています。
委員	小学校校長会から出ていますが、小学校では教員の人権講座は職員研修ということで、4 回出るのが一番いいんですが、1 回は出ようという事で、職員に割り振って参加をしています。どこの学校もそうじゃないかと思います。それから、小学校校長会の方でも（人権に関する）ポスターや標語を呼び掛けて、少しずつ数が増えたかなというふうに思っております。来年度もまた校長会等を利用して、人権教育というのはとても大事なことですし、教員あるいは子供達にとって大事なことなので進めていきたいというふうに思っています。先ほど教職員の話もしていただけましたので、まだまだその辺は私ども校長として見落としているところがあると思いますので、教職員の人権意識の向上に取り組んでいきたいと思っております。
委員	保護司会から出ております。先ほど「人権教育がなぜ大切か」ということをもっと広めていかなければいけないということを言われておりましたが、全くその通りだと思います。高校の先生もおっしゃいましたが、今ネット社会ですから、いつ自分が突然そういった被害者になるか、法的にも社会的にもまた人間関係においても、いつ侵害を受けるか分からない社会だということだと思います。だから人権侵害は自分が遭う可能性が十分にあるということを認識してもらうことも大事ではないかと思います。今後ともよろしくお願いい

	たします。
会長	時間をとってしまいましたけども、とても良い話し合いができたのではないかと思いますし、事務局がこれから考えていくためのいろいろな案が出たと思います。来年度に向けてさらに良い会になればというふうに思います。よろしくお願いします。それでは以上で議事を終わりたいと思います。
社会教育課　課長挨拶 議事後、人権教育推進協議会委員の会議出席時の交通事故等についての質問あり 　→回答は後日（次回会議）	